

調査対象500社超！

『よこすかHOT景気』！

2025年
1～3月期

地域内で調査対象企業500社超の景気動向調査を実施しています。
業種別の動向を集計してお知らせしています。地域内企業の生の声を反映した、実感に基づく「景況感」を、会員企業の経営判断の参考としてお役立ていただければ幸いです。

景況感は横這い、見通しは改善傾向に！
～米国の関税政策の影響が懸念材料～

調査概要

【対象期間】2025年1月～3月期

【調査時期】2025年4月1日(火)～4月7日(月)

【調査方法】窓口対面調査・巡回調査・FAX調査・メールによる調査

【調査協力】久里浜商店会(協)、衣笠商店街(振)、衣笠仲通り商店街(協)、ヨコスカダウンタウンクラブ、
(一社)横須賀建設業協会、横須賀工業振興(協)

【回答企業】502社

【内 訳】建設業109件(21.7%)、製造業59件(11.7%)、卸売業38件(7.6%)、小売業103件(20.5%)、飲食業59件(11.8%)、
サービス業98件(19.5%)、不動産業36件(7.2%) 合計502件(100%)

※当調査は、当所管内の中小企業の景気動向を把握するため四半期毎に実施いたします。

2025年(1～3月期)【業況感】

今期(1月～3月)の業況感

今期の全業種の業況感は、前期(10月～12月)と比較して、「不変」との回答が48.9%(前期40.3%、8.6ポイント増加)と最も多く、「悪い」9.2%「やや悪い」29.3%との合算回答が38.5%(前期43.3%)と4.8ポイント減少したが、「良い」2.0%「やや良い」10.6%との合算回答が12.6%(前期16.4%)と3.8ポイント減少したことから、業況感は横這いであることを示している。

業況感横這いの要因として、すべての業種において「人件費以外の経費増加」が経営課題の3位以内に挙げられており、物価高騰の影響がみられる一方で、建設業とサービス業以外で人手不足が経営課題の3位以内に挙げられていないことから改善がみられる。

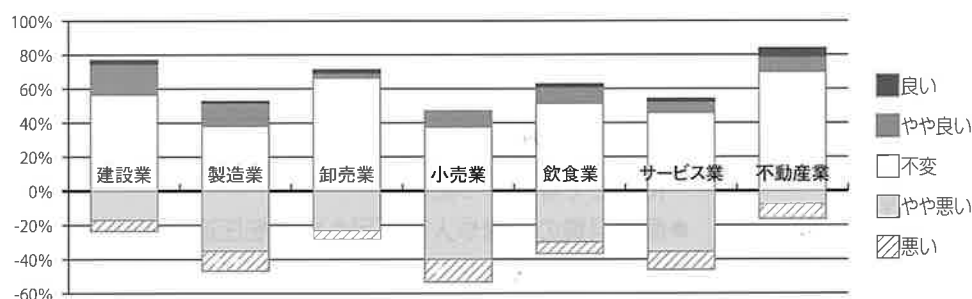
業種別に見ると、前期に続き小売業の「悪い」12.6%「やや悪い」40.8%の合算回答は53.4%と業種の中で最も悪い一方、建設業の「良い」2.8%、「やや良い」17.4%の合算回答は20.2%、と業種の中で最も良い。

(業況感全体概況)

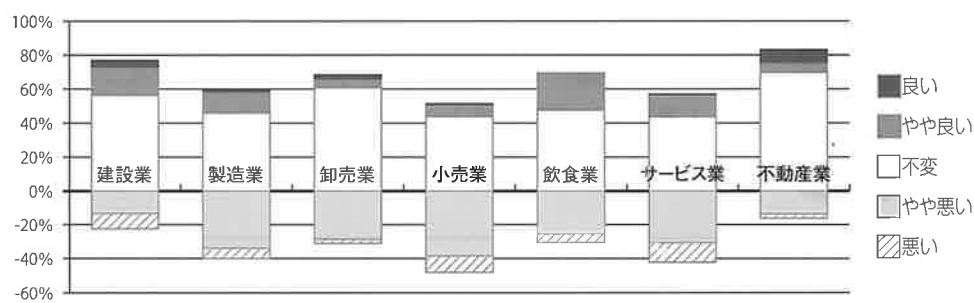
いずれも回答割合(%)

直近4期との比較	良い	やや良い	不変	やや悪い	悪い
2024 1～3月期	3.8	17.8	40.6	28.9	8.9
2024 4～6月期	3.0	19.3	41.6	29.9	6.2
2024 7～9月期	1.4	13.9	47.2	30.7	6.8
2024 10～12月期	2.2	14.2	40.3	36.7	6.6
2025 1～3月期	2.0	10.6	48.9	29.3	9.2

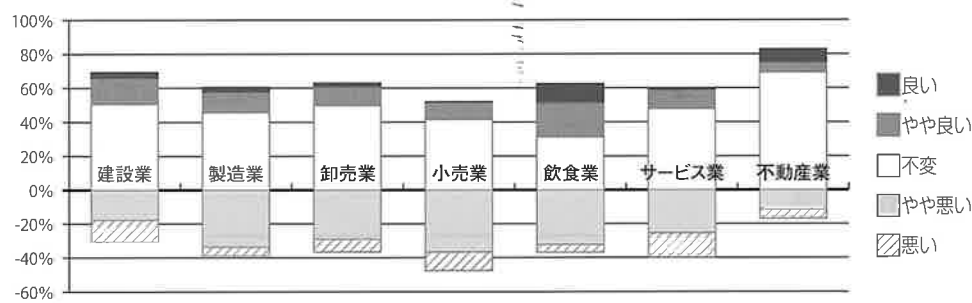
2025年(1～3月期)【業況感】



2025年(1～3月期)【売上高】



2025年(1～3月期)【営業利益】

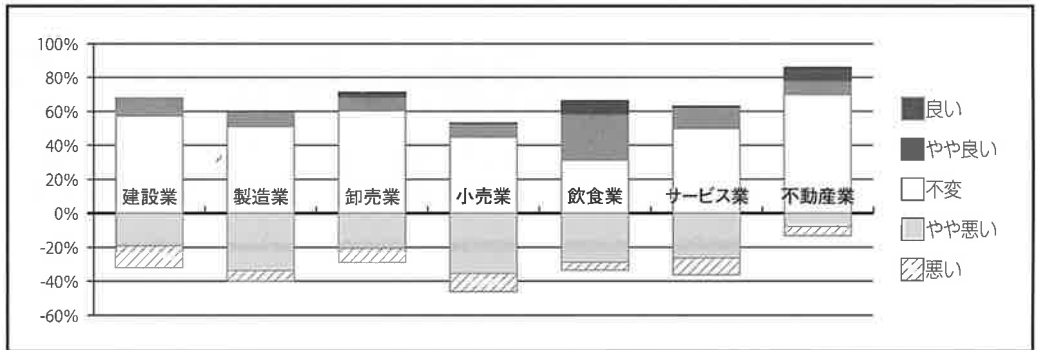


（直面している経営課題） 経営上の問題点TOP3

業 種	1 位		2 位		3 位	
建 設 業	人手不足	24.4%	仕入単価上昇	22.3%	人件費以外の経費増加	16.1%
製 造 業	人件費以外の経費増加	18.2%	仕入単価上昇	17.6%	需要の停滞	14.8%
卸 売 業	人件費以外の経費増加	25.0%	仕入単価上昇	22.9%	需要の停滞	13.5%
小 売 業	仕入単価上昇	26.5%	人件費以外の経費増加	16.1%	人件費増加	15.7%
飲 食 業	仕入単価上昇	23.7%	人件費以外の経費増加	17.9%	人件費増加	14.5%
サービス業	人件費以外の経費増加	23.9%	仕入単価上昇・需要の停滞	13.4%	人手不足	11.9%
不 動 産 業	設備老朽化	27.5%	人件費以外の経費増加	17.7%	IT化の遅れ	11.8%

次期（2025年4～6月期）見通し

今期の業況感の「良い」2.0%「やや良い」10.6%の合算回答12.6%と比較すると、次期は「良い」1.2%「やや良い」9.6%の合算回答10.8%と1.8ポイント減少したが、今期「悪い」9.2%「やや悪い」29.3%の合算回答は38.5%に対し、次期「悪い」9.3%「やや悪い」26.3%との合算回答は35.6%と2.9ポイント減少しており、業況の見通しが改善している。トランプ大統領の関税政策がマイナス要素であるものの、その後は景気が回復するとの見込みがあることが改善の要因と考えられる。



御社で実施している福利厚生について（複数回答あり）

- 余暇活動 48社
- 共済・退職金積立 135社
- 慶弔金 129社
- 健康管理 145社

福利厚生に関する意見等

- ひとびとみうらの会員になり利用しています（小売業）
- 働きやすい職場づくりをこころがけています（製造業）
- 組合員の研修旅行を復活させたい（建設業）
- 個人ロッカーを新設した（サービス業）
- 食事補助や資格取得費用補助を実施しています（製造業）
- 賄いを提供しています（飲食業）

調査に協力していただいた事業者の皆さまからの声 今期の経営状況についてのコメントです。

建設業



- 材料の高騰がとても厳しい状況。
- 忙しいけど利益が伴わない。
- 1月から売上の減少傾向が続いている。
- 新人育成のための費用が増加。

卸売業



- なんでも値上がりしているが、商社や、仲間うちでコミュニケーションをとり、市場動向を注視し、少しでも利益が増えるようにしている。
- 冬期はイベント等がないので毎年売上が少なくなりがちです。一般の方の売上を少しでも取り込みたい。
- 天気に売上が左右される。

飲食業



- 新病院移転により売上増加を見込んでおりましたが、期待ほどではなかった。
- 原材料費の高騰や人手不足も経営を圧迫している。
- 米の価格が異常な上昇のため来期は値上げを検討している。
- 米の価格高騰が想定外。

不動産業



- 空テナントの応募が少ないため賃料を上げられない。
- 建築費（資材・人件費）の高止まりによる未着手の案件が増えている。

製造業



- 受注が伸びてきません。物価が上がリユーザーが機械の更新をかなりためらう状況です。さらに、トランプ大統領の自動車関税25%の影響が3月後半から出始めました。
- デジタル印刷化を進めているが、需要が弱く、トランプ関税が落ち着いたら、景気が良くなることを期待している状態です。
- 得意先の稼働停止により売上減少。
- 1月下旬に卸価格の改定を一部出来たので、前年に比べてどれくらいプラスになるか期待している。

小売業



- 天候不順のため春物衣料が売れない。来店客数が少なく減少している。
- インターネット販売の影響があり売上減少。
- 仕入れ価格が上昇し厳しい。
- 客数が前年同期20%減少しているため大変厳しい状況です。
- ガソリン価格高騰で厳しい。

サービス業



- 継続中のコンサルを実施。令和7年度の仕事は未定。
- 人手不足により受注できない件数が増えました。
- もう少し集客を上げないと厳しい状況です。
- スタジオのレンタルルームのレンタル料が値上がりしたのが痛いですが、それ以外は問題ありません。
- 新しい機械を導入したので評判が良く、口コミでお客様が増え売上を保っていますが、今後はわかりません。

横須賀商工会議所は、地域の会員企業の経営を多面的にバックアップします。ご利用になりたい制度がありましたら、下記担当までご連絡ください。